



新年のあいさつ

新年あけましておめでとう
ございます。

皆様方におかれましては、ご家族おそろいで希望に満ちた、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、新しい年が皆様にとつてますますご健勝で幸多い一年になりますことを心からお祈りいたします。

加えまして、町民の皆様のかねてから町政に対する深いご理解とご協力に対し、心から厚くお礼申し上げます。昨年、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災が国内外の情勢に色濃く影響を残した年であり、被災された方々も復興に向け奮闘の日々を送られていることかと思いますが、世界中が熱狂する中、日本の選手が活躍したロンドンオリンピックが、皆

様の心に一筋の希望の光を届けてくれたのではないでしょうか。

本町におきましても、町民の皆様への尊い生命と財産を災害から守ることを第一に考えまして、いち早く津波対策検討委員会を設置し、協議を重ね、2か年度にかけて、海岸沿いの公共施設等を中心に

標高柱や標高表示板を設置いたしました。また5月には津波防災マップを作成し、全家庭に配布させていただきました。更に、海岸沿いの集落を中心に、防災マップを活用して津波防災説明会を開催したところでもあります。災害は、いつどんな形で発生するか予測できないことではありますが、日頃の備えや心構えにより、その被害を小さくできると考えております

ので、町民の皆様におかれましても、日々の回りの自然の変化等に気を付けていただき、もしもの場合に備えていただきたいと思います。

教育面につきましては、近年の少子化により、本町の児童生徒も減少の一途をたどっておりますことから、多感な時期で人間形成に大きな影響を与えると考えられます

学校時代に、より多くの仲間と切磋琢磨できる教育環境を提供することを目的としまして、平成26年4月の中学校統合に向け、昨年、学校運営にしまして、PTAの方々をはじめとする中学校統合準備委員会で協議いただき、ほか、学校施設の整備につきましても、来年度中に整備が完了できるよう準備を進めております。

また、小学校につきましても、各教室に扇風機を設置しまして、夏の暑い環境を少しでもやわらげる工事を実施いたしました。

次に、大崎町の将来を担う子どもたちの健全な成長を図ることを目的としまして、2つの新しい施策を実施することといたしました。

まず、保育園児や幼稚園児などの幼児を対象に、フツ化物で口の中を洗うことで虫歯の、り患率を抑える施策を実施しました。乳歯が健康であることにより、永久歯の虫歯のり患率も抑えられ、虫歯のない歯での飲食は、健康な体づくりのものになることが考えられますので、今後も継続していきたいと考えております。

次に、これまで『乳幼児医